

年 度	2022年度（令和4年度）		
科 目	アセンブラ言語		
担 当	北中 佑樹	使用教室	34教室
実務経験	大学講師として情報科目を担当している他，IT パスポート試験講座や応用情報技術者試験講座などで講師を務める．応用情報技術者試験合格．		
種 別	前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
到達目標	基本情報技術者試験に出題される CASL II の問題が解けること		
資 格 実施月	毎年上期4月～・下期10月～ の2回、CBT方式の基本情報技術者試験		
評価方法	定期試験（中間試験・期末試験）70%，平常点（出席状況，授業態度）30%の合計100%で評価する．		
教科書等	情報処理技術者テキスト プログラミング入門 CASL II（実教出版）		
授業計画	<p>第1週から第2週 基本情報技術者試験を受験することにおいてアセンブラ言語を習得することについての意味 コンピュータの理解できることば コンピュータの仕組み プログラムの作成から動作までの手順コンピュータの処理の基本とアセンブラの動作について</p> <p>第3週から第4週 プログラムの書き方 レジスタに値を設定する プログラムの実行</p> <p>第5週から第6週 主記憶装置に値を保存する 主記憶装置の値を読み込む 主記憶装置の値を別の場所にコピーする LD命令とLAD命令 キーボードから入力した値を主記憶装置に書き込む</p> <p>第7週から第8週 加算・減算の基本 符号つき2進数の加算・減算 論理演算 XOR命令 論理シフト命令 算術シフト命令 乗算・除算</p> <p>第9週から第10週 処理の制御の準備 処理の制御を変える命令 処理の制御の複数分岐 制御の応用</p>		

第11週から第12週
決まった回数の繰り返し処理
ある条件になるまで繰り返す処理
前判定の繰り返し処理
入れ子の繰り返し処理

第13週から第14週
副プログラムとは
副プログラムに値を渡す
副プログラムの処理結果を返す
副プログラムに多くの値を渡す
スタックを使って逆順に並べ替える

第15週から第16週
プログラムの総合演習

第17週から最終週
基本情報技術者試験に出題されるレベルのプログラム演習